

**「痔の治療」
大規模患者調査**

平成23年7月12日

株式会社QLife(キューライフ)

【結論の概要】

■調査の背景:

痔は、ごく一般的な病気であるにもかかわらず、実態がよく分からない。知られることが憚られるイメージが強いため、具体的な内容を調査したり話題にしにくく、発症から受診まで数年以上かかる人も少なくない。この調査では、そうした未受診層(痔に悩んでいるが受診をしていない人達)も含め、痔の受診・治療にかかる実態を明らかにする。

■主な結論:

1. 本調査における痔の経験者は「裂肛(切れ痔)」で5割、「痔核(いぼ痔)」が4割、「痔ろう(あな痔)」が1割弱であった。罹患数において「内痔核」で性差は見られないが、「裂肛」は女性、「痔ろう」は男性に多い傾向があり、複数の痔疾患を併発するケースも少なくない(平均で1.2種類)。
2. 痔の受診率は4割弱と低く、各疾患の大まかな割合は「痔ろう」で7割、「痔核」が4割、「裂肛」が2割であった。一方で、診断を受けてから治療に進む割合は痔疾患の種類に大きな差はなく、8割程度に上っていた。
3. 痔疾患に対しては「見られる恥ずかしさ」とともに「知られる恥ずかしさ」のイメージを強く抱く人が多く、女性にその傾向が強い。そして、治療を受けない理由としては、これらの理由に加え「治療を受けるほどではない」や「費用がかかる」を挙げる人が多かった。
4. 「医師にも他人にも一切相談せずに一人で悩む人」は4割強に上っていた。一方で、「医師に相談する人は医師以外の人にも相談する」傾向が見られた。
5. 「医療機関を選ぶ基準」は性別や痔疾患により異なり、男性では「最新の治療法・技術」、女性では「医療機関や医師の知名度・雰囲気」で最も関心が高い。「治療費負担が少ない」も重要な基準である。疾患別では裂肛と外痔核が「自宅や職場からの近さ」、内痔核は「治療の痛みが少ない」、痔ろうは「医療機関や医師の知名度・雰囲気」であった。
6. 痔の治療を受けた人の治療に対する満足度は6割、不満足度は1.5割であった。疾患別では、最も治療効果／満足度の高いのは「痔ろう」、最も低いのは「内痔核」であった。
7. 痔に関する情報は「インターネット」を参考にする人が多く、何も調べずに治療を受けた人は2割弱しかいない。ただし「情報不足」とする方が多く、必要な情報を容易に確認できる状況とは言えない。

【調査実施概要】

▼実施主体

株式会社QLife(キューライフ)

▼実施概要

- (1) 調査名称: 「痔の治療」大規模患者調査
- (2) 調査対象: 全国のインターネット利用者
- (3) 有効回答数: 5,779人
- (4) 調査方法: インターネット調査
- (5) 調査時期: 2011/4/22~2011/5/20

▼回答者の属性分布

(1) 性・年代:

	男	女	合計	男	女	合計
20代	221	362	583	3.8%	6.3%	10.1%
30代	521	823	1,344	9.0%	14.2%	23.3%
40代	706	663	1,369	12.2%	11.5%	23.7%
50代	604	354	958	10.5%	6.1%	16.6%
60代	835	250	1,085	14.4%	4.3%	18.8%
70代	356	53	409	6.2%	0.9%	7.1%
80代	27	4	31	0.5%	0.1%	0.5%
合計	3,270	2,509	5,779	56.6%	43.4%	100.0%

(2) 居住地

北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬
4.7%	0.7%	0.7%	1.6%	0.8%	0.7%	0.8%	1.6%	1.2%	1.4%
埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野
5.4%	6.1%	14.7%	10.5%	1.2%	0.9%	0.7%	0.4%	0.3%	1.1%
岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山
1.2%	2.4%	6.3%	1.1%	1.0%	2.1%	8.1%	4.8%	1.4%	0.5%
鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡
0.2%	0.5%	1.5%	2.2%	0.7%	0.5%	0.7%	0.9%	0.4%	3.8%
佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄			
0.4%	0.8%	0.6%	0.4%	0.5%	0.9%	0.6%			

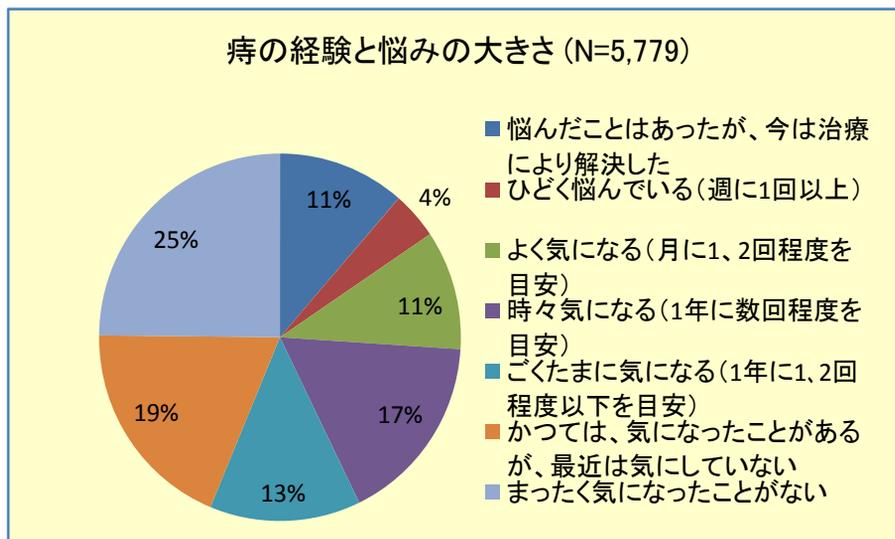
【調査結果の詳細】

1. 痔で悩んだことはありますか？最もあてはまるものを一つ選んでください。

痔になった(悩んだ)ことのある人は75.2%。年に1～数回という軽症の人が多くを占めるが、「月1、2回程度以上」悩むという本格的な罹患に限定すると、罹患経験率は26.0%であった。そのうちの半数以上(14.7%)が、今でも悩み続けている。

性別では、男性の罹患経験率の方が若干高い。

	男	女	合計
悩んだことはあったが、今は治療により解決した	433	224	657
ひどく悩んでいる(週に1回以上)	137	103	240
よく気になる(月に1、2回程度を目安)	321	287	608
時々気になる(1年に数回程度を目安)	520	448	968
ごくたまに気になる(1年に1、2回程度以下を目安)	434	345	779
かつては、気になったことがあるが、最近では気にしていない	631	461	1,092
まったく気になったことがない	794	641	1,435
合計	3,270	2,509	5,779
	男	女	合計
悩んだことはあったが、今は治療により解決した	13.2%	8.9%	11.4%
ひどく悩んでいる(週に1回以上)	4.2%	4.1%	4.2%
よく気になる(月に1、2回程度を目安)	9.8%	11.4%	10.5%
時々気になる(1年に数回程度を目安)	15.9%	17.9%	16.8%
ごくたまに気になる(1年に1、2回程度以下を目安)	13.3%	13.8%	13.5%
かつては、気になったことがあるが、最近では気にしていない	19.3%	18.4%	18.9%
まったく気になったことがない	24.3%	25.5%	24.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%



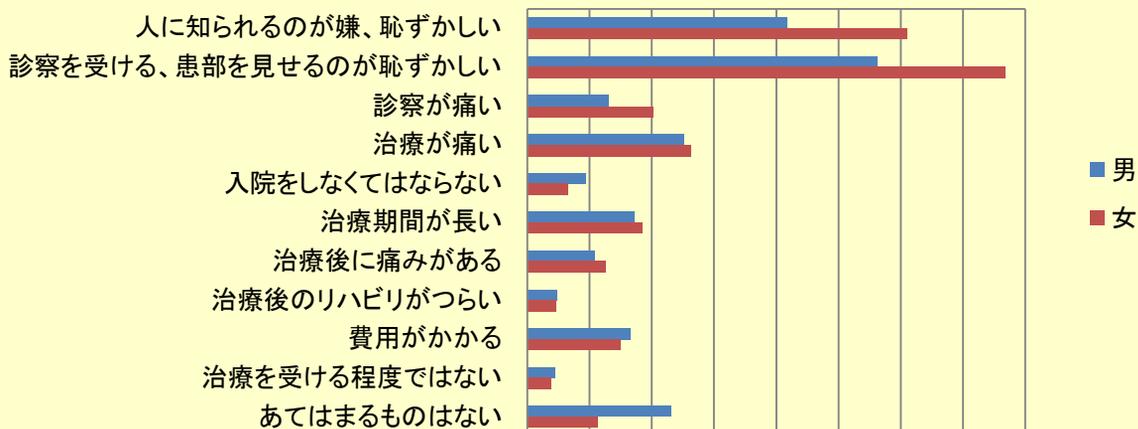
2. (痔の未経験者のみ)「痔」に対して抱くイメージを教えてください。＜複数回答＞

多くの未経験者にとって痔は、「恥ずかしい」イメージを第一に抱くものようだ。見られる恥ずかしさ(65.4%)に加え、知られる恥ずかしさ(50.4%)を持っている人も多い。特に女性にその傾向が強い。
一方で、「診察の/治療の/治療後の痛み」や「治療期間が長い」といったイメージを抱く人も少なくないが、男女の間でポイント差は大きくない。

	男	女	合計	男	女	合計
人に知られるのが嫌、恥ずかしい	332	391	723	41.8%	61.0%	50.4%
診察を受ける、患部を見せるのが恥ずかしい	446	492	938	56.2%	76.8%	65.4%
診察が痛い	104	130	234	13.1%	20.3%	16.3%
治療が痛い	200	169	369	25.2%	26.4%	25.7%
入院をしなくてはならない	74	42	116	9.3%	6.6%	8.1%
治療期間が長い	137	119	256	17.3%	18.6%	17.8%
治療後に痛みがある	86	81	167	10.8%	12.6%	11.6%
治療後のリハビリが辛い	38	30	68	4.8%	4.7%	4.7%
費用がかかる	132	96	228	16.6%	15.0%	15.9%
治療を受ける程度ではない	35	24	59	4.4%	3.7%	4.1%
あてはまるものはない	183	72	255	23.0%	11.2%	17.8%
	1,767	1,646	3,413	222.5%	256.8%	237.8%

痔に悩んだことのない人から見た「痔のイメージ」(N=1,435)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80%

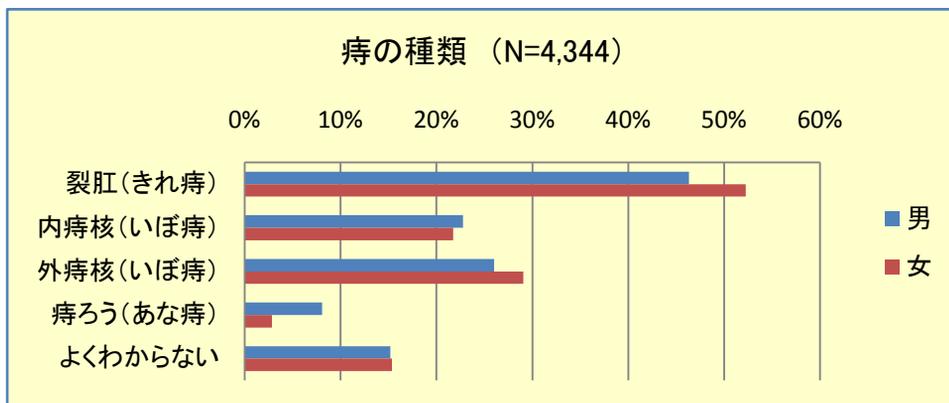


3. (痔の経験者のみ)あなたを悩ませる(悩ませた)痔の種類を教えてください。<複数回答>

どんな痔が多いのか、悩んでいる人に痔の種類を聞いたところ、「裂肛(きれ痔)」が48.9%と半数を占めた。「内痔核(いぼ痔)」と「外痔核(いぼ痔)」はほぼ同数。「痔ろう(あな痔)」は5.8%と少ない。また、複数の種類に罹患している人も少なくなく、平均で約1.2種類を経験している。

男女別では、裂肛は女性に多く、痔ろうは男性に多いという特徴がある。

	男	女	合計	男	女	合計
裂肛(きれ痔)	1,147	976	2,123	46.3%	52.2%	48.9%
内痔核(いぼ痔)	564	406	970	22.8%	21.7%	22.3%
外痔核(いぼ痔)	644	543	1,187	26.0%	29.1%	27.3%
痔ろう(あな痔)	200	53	253	8.1%	2.8%	5.8%
よくわからない	376	287	663	15.2%	15.4%	15.3%
合計	2,931	2,265	5,196	118.4%	121.3%	119.6%



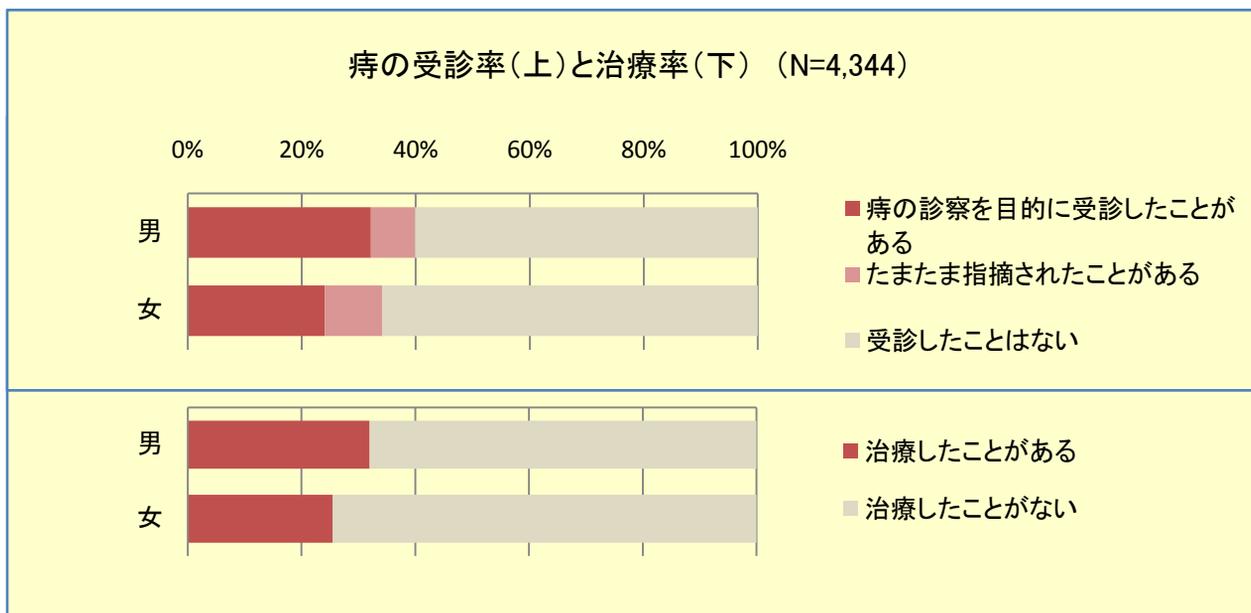
4. (痔の経験者のみ) 病院で痔の診断を受けたことがありますか。病院で痔の治療を受けたことがありますか。

痔になっても、きちんと病院で診断を受ける人は少ない。能動的な受診は28.7%に過ぎず、受動的な受診を含めても合計37.4%しかきちんと診断を受けていない。男性の方が、受診率は高い。

一方で治療率は、男性が32.0%、女性が25.5%であった。

診断を受けた人が治療に進む率は、全体で(1268/(1245+380)=)78%であった。

	男	女	合計	男	女	合計
痔の診察を目的に受診したことがある	796	449	1,245	32.1%	24.0%	28.7%
たまたま指摘されたことがある	191	189	380	7.7%	10.1%	8.7%
受診したことはない	1,489	1,230	2,719	60.1%	65.8%	62.6%
合計	2,476	1,868	4,344	100.0%	100.0%	100.0%
	男	女	合計	男	女	合計
治療したことがある	792	476	1,268	32.0%	25.5%	29.2%
治療したことがない	1,684	1,392	3,076	68.0%	74.5%	70.8%
合計	2,476	1,868	4,344	100.0%	100.0%	100.0%



※前ページからのつづき

4. (痔の経験者のみ) 病院で痔の診断を受けたことがありますか。病院で痔の治療を受けたことがありますか。

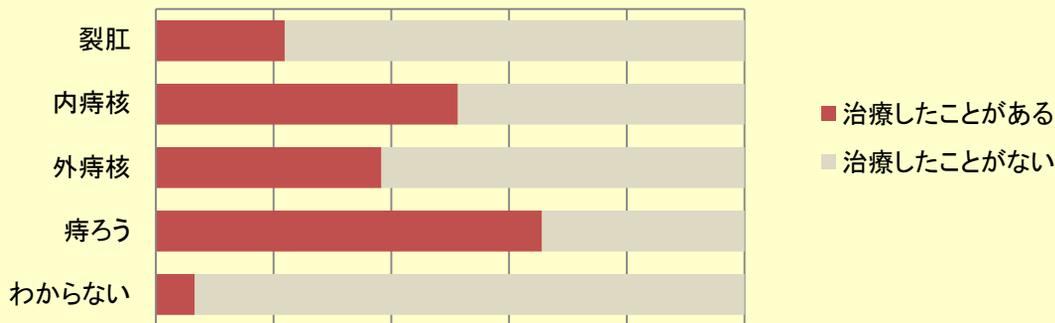
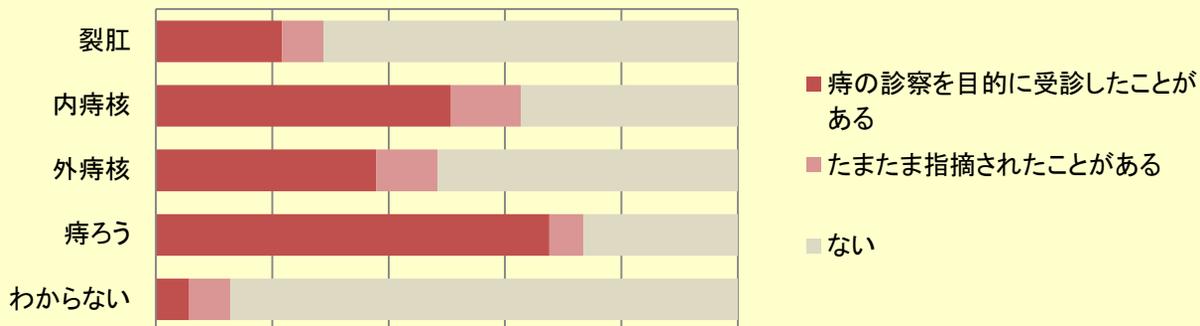
受診率、治療率を痔の種類別にみたところ、「裂肛」が最も低く、2割強の人しか自ら受診・治療をしていない。一方で最も高いのは「痔ろう」で、7割程度の人が受診・治療をしている。

診断を受けてから治療に進む率は、痔の種類別で大きな差は見られず、診断を受けた人の8割程度が治療を受けている。特に痔ろうは、89%の率で治療を受けている。

	裂肛	内痔核	外痔核	痔ろう	わからない
痔の診察を目的に受診したことがある	461	492	449	171	38
たまたま指摘されたことがある	150	116	126	15	47
ない	1,512	362	612	67	578
合計	2,123	970	1,187	253	663
	裂肛	内痔核	外痔核	痔ろう	わからない
痔の診察を目的に受診したことがある	21.7%	50.7%	37.8%	67.6%	5.7%
たまたま指摘されたことがある	7.1%	12.0%	10.6%	5.9%	7.1%
ない	71.2%	37.3%	51.6%	26.5%	87.2%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	裂肛	内痔核	外痔核	痔ろう	わからない
治療したことがある	465	498	455	166	44
治療したことがない	1,658	472	732	87	619
合計	2,123	970	1,187	253	663
	裂肛	内痔核	外痔核	痔ろう	わからない
治療したことがある	21.9%	51.3%	38.3%	65.6%	6.6%
治療したことがない	78.1%	48.7%	61.7%	34.4%	93.4%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

痔の種類別：受診率(上)と治療率(下) (N=4,344)

0% 20% 40% 60% 80% 100%



5. (痔の経験者のみ)痔に関して医師以外に相談したことはありますか？あてはまるものを全て選んでください。

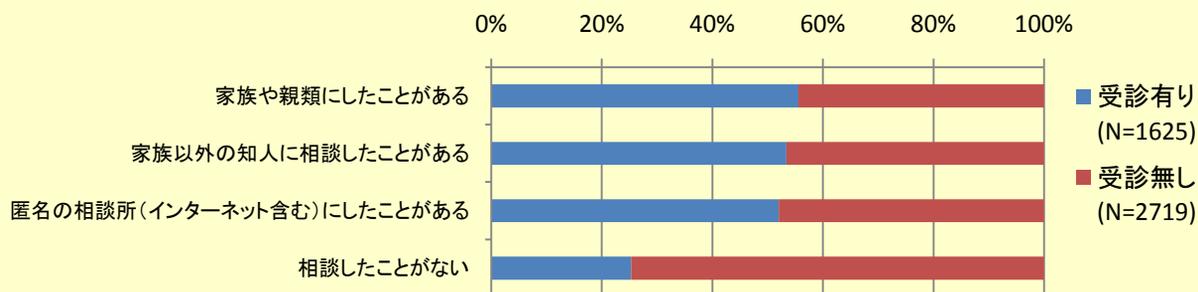
(100-56.3=)43.7%の人が、医師以外の人に痔について相談をしていた。相手は「家族や親類」が圧倒的に多く、36.9%の人が相談している。

受診有無別でみると、「医師に相談する人は、医師以外にも相談する」傾向がある。

そして、「医師にも他人にも一切相談せずに独りで悩む人」が、全体の42%に上ることがわかった。

			受診有無別に占める比率			全体に占める比率	
	受診有 N=1625	受診無 N=2719	受診有 N=1625	受診無 N=2719	合計 N=4344	受診有 N=1625	受診無 N=2719
家族や親類にしたことがある	890	711	54.8%	26.1%	36.9%	20.5%	16.4%
家族以外の知人に相談したことがある	278	243	17.1%	8.9%	12.0%	6.4%	5.6%
匿名の相談所(インターネット含む)にしたことがある	64	59	3.9%	2.2%	2.8%	1.5%	1.4%
相談したことがない	619	1,826	38.1%	67.2%	56.3%	14.2%	42.0%
合計	1,851	2,839	113.9%	104.4%	108.0%	42.6%	65.4%

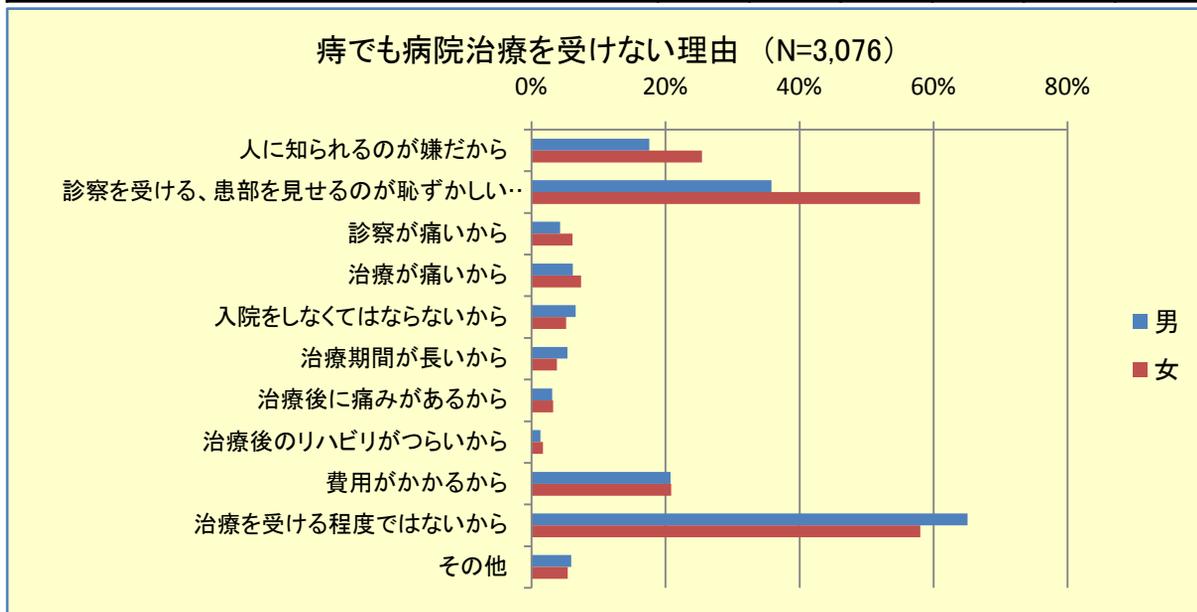
痔についての医師以外への相談 (N=4,344)



6. (悩んでいるのに治療経験ない人のみ) 痔で悩んでも、病院で治療を受けない理由は何ですか。
<複数回答>

医療機関で治療を受けない理由は、前出の“痔に対して抱くイメージ”と同様に、「見られる恥ずかしさ」が大きかった。ただし、「治療を受ける程でない」や「費用」を理由に挙げる人も多く、特に男性では「費用」が「知られる恥ずかしさ」を上回る。「その他」の具体的内容では、「市販薬で対応しているから」が最も多かった。

	男	女	合計	男	女	合計
人に知られるのが嫌だから	296	354	650	17.6%	25.4%	21.1%
診察を受ける、患部を見せるのが恥ずかしいから	603	807	1,410	35.8%	58.0%	45.8%
診察が痛いから	72	85	157	4.3%	6.1%	5.1%
治療が痛いから	104	103	207	6.2%	7.4%	6.7%
入院をしなくてはならないから	111	72	183	6.6%	5.2%	5.9%
治療期間が長いから	90	53	143	5.3%	3.8%	4.6%
治療後に痛みがあるから	52	45	97	3.1%	3.2%	3.2%
治療後のリハビリが辛いから	22	24	46	1.3%	1.7%	1.5%
費用がかかるから	349	290	639	20.7%	20.8%	20.8%
治療を受ける程度ではないから	1,096	808	1,904	65.1%	58.0%	61.9%
その他	100	75	175	5.9%	5.4%	5.7%
合計	2,895	2,716	5,611	171.9%	195.1%	182.4%



「その他」の例

男性	35歳	茨城県	市販薬の使用でごまかしている。病院でどの程度良くなるか分からないので、日常に支障がでてから、必要に迫られたら行こうと考えている。
女性	44歳	千葉県	市販の薬で一時的にでも緩和されるため、時間をかけてまで病院に・・・という踏ん切りがつかない
女性	73歳	東京都	取り敢えずそのままでもいいでしょう、と言われたので。でもいつか下の世話になる時を思うとキレイにしておきたいかな、とも思う。
女性	49歳	神奈川県	(略)・・・病院で、話の内容を、他の人に聞かれるんじゃないかとか・・・
女性	36歳	兵庫県	子供が小さくて、自分のことでなかなか病院に行けないから。
男性	54歳	東京都	他に早く治す必要に迫られている持病を幾つも抱えていて、そちらの治療を優先せざるを得ないから
男性	56歳	東京都	病院へ行くのが面倒だから

※前ページからのつづき

6. (悩んでいるのに治療経験ない人のみ) 痔で悩んでも、病院で治療を受けない理由は何ですか。

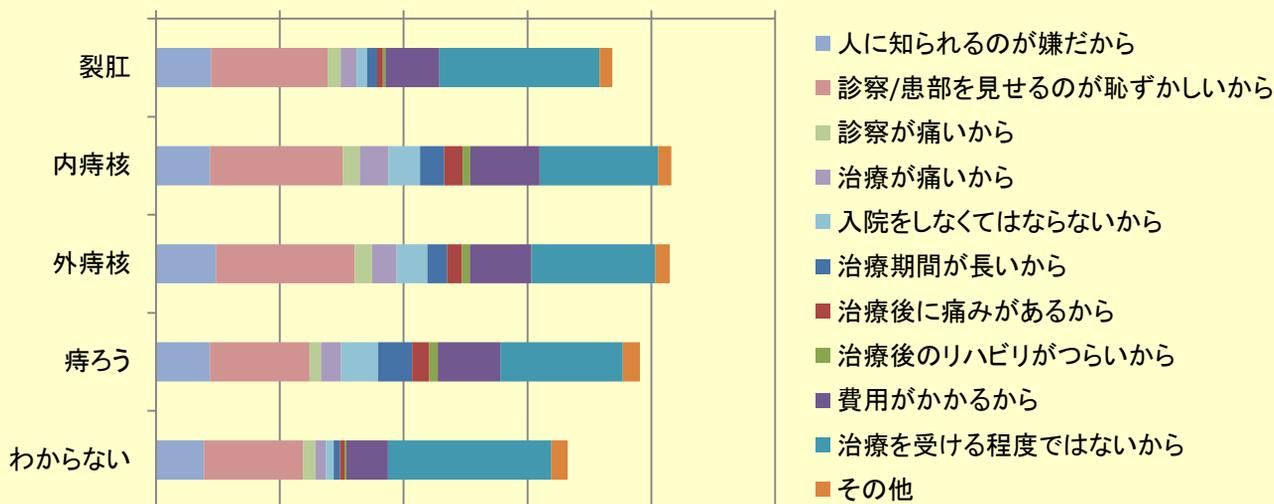
＜複数回答＞

治療を受けない理由を、痔の種類別に集計した。内痔核の人に「診察が/治療が/治療後が、痛い」がやや多く、痔ろうの人に「期間が長い」がやや多いという特徴はあるが、全体の傾向には大きな差はなかった。

	裂肛	内痔核	外痔核	痔ろう	わからない	合計	裂肛	内痔核	外痔核	痔ろう	わからない	合計
人に知られるのが嫌だから	370	103	178	19	120	790	22.3%	21.8%	24.3%	21.8%	19.4%	25.7%
診察を受ける、患部を見せるのが恥ずかしいから	779	253	409	35	248	1,724	47.0%	53.6%	55.9%	40.2%	40.1%	56.0%
診察が痛いから	87	32	52	4	30	205	5.2%	6.8%	7.1%	4.6%	4.8%	6.7%
治療が痛いから	106	55	72	7	27	267	6.4%	11.7%	9.8%	8.0%	4.4%	8.7%
入院をしなくてはならないから	71	60	91	13	19	254	4.3%	12.7%	12.4%	14.9%	3.1%	8.3%
治療期間が長いから	68	46	59	12	16	201	4.1%	9.7%	8.1%	13.8%	2.6%	6.5%
治療後に痛みがあるから	37	35	43	6	11	132	2.2%	7.4%	5.9%	6.9%	1.8%	4.3%
治療後のリハビリがづらいから	18	15	24	3	5	65	1.1%	3.2%	3.3%	3.4%	0.8%	2.1%
費用がかかるから	362	132	182	22	104	802	21.8%	28.0%	24.9%	25.3%	16.8%	26.1%
治療を受ける程度ではないから	1,072	226	366	43	408	2,115	64.7%	47.9%	50.0%	49.4%	65.9%	68.8%
その他	85	25	43	6	41	200	5.1%	5.3%	5.9%	6.9%	6.6%	6.5%
合計	3,055	982	1,519	170	1,029	6,755	184.3%	208.1%	207.5%	195.4%	166.2%	219.6%

痔の種類別：病院治療を受けない理由 (N=3,067)

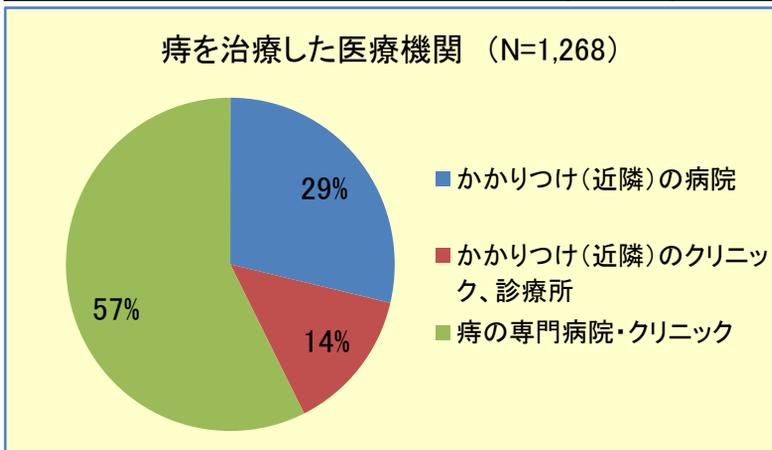
0% 50% 100% 150% 200% 250%



7. (痔の治療経験者のみ)どのような医療機関で「治療」を受けましたか？治療を最後に受けた医療機関を指して最もあてはまるもの一つ選んでください。

痔の治療を受ける医療機関は、専門の病院・クリニックが多い。57.4%と過半を占めた。

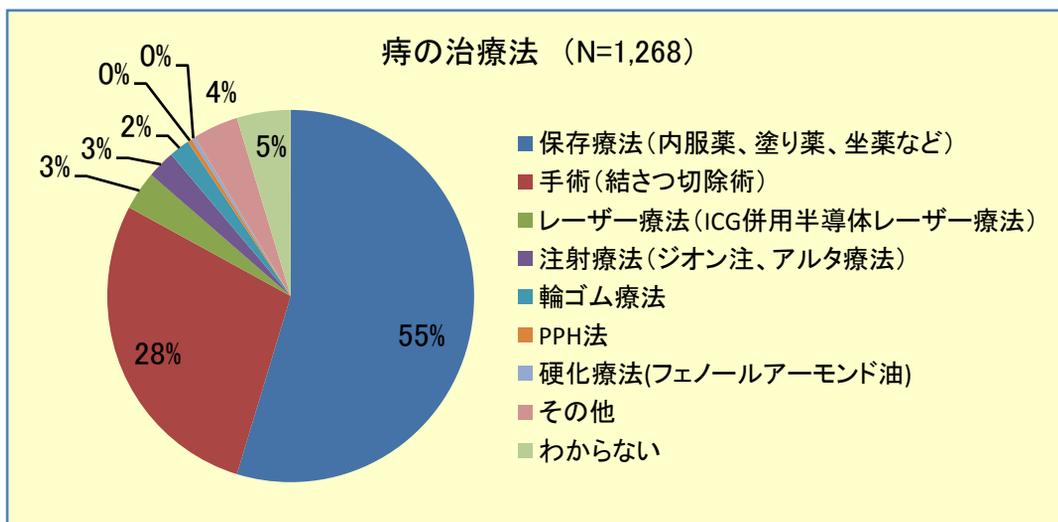
かかりつけ(近隣)の病院	364	28.7%
かかりつけ(近隣)のクリニック、診療所	176	13.9%
痔の専門病院・クリニック	728	57.4%
合計	1268	100.0%



8. (痔の治療経験者のみ)あなたが受けた治療の「治療法」を教えてください。

治療法では、「保存療法(内服薬、塗り薬、坐薬など)」が最も多くて54.7%と過半を占めた。次が「手術(結さつ切除術)」の28.2%で、「レーザー療法(ICG併用半導体レーザー療法)」と「注射療法(ジオン注、アルタ療法)」はそれぞれ3.4%、2.4%であった。

保存療法(内服薬、塗り薬、坐薬など)	694	54.7%
手術(結さつ切除術)	357	28.2%
レーザー療法(ICG併用半導体レーザー療法)	43	3.4%
注射療法(ジオン注、アルタ療法)	31	2.4%
輪ゴム療法	23	1.8%
PPH法	5	0.4%
硬化療法(フェノールアーモンド油)	4	0.3%
その他	51	4.0%
わからない	60	4.7%
合計	1,268	100.0%

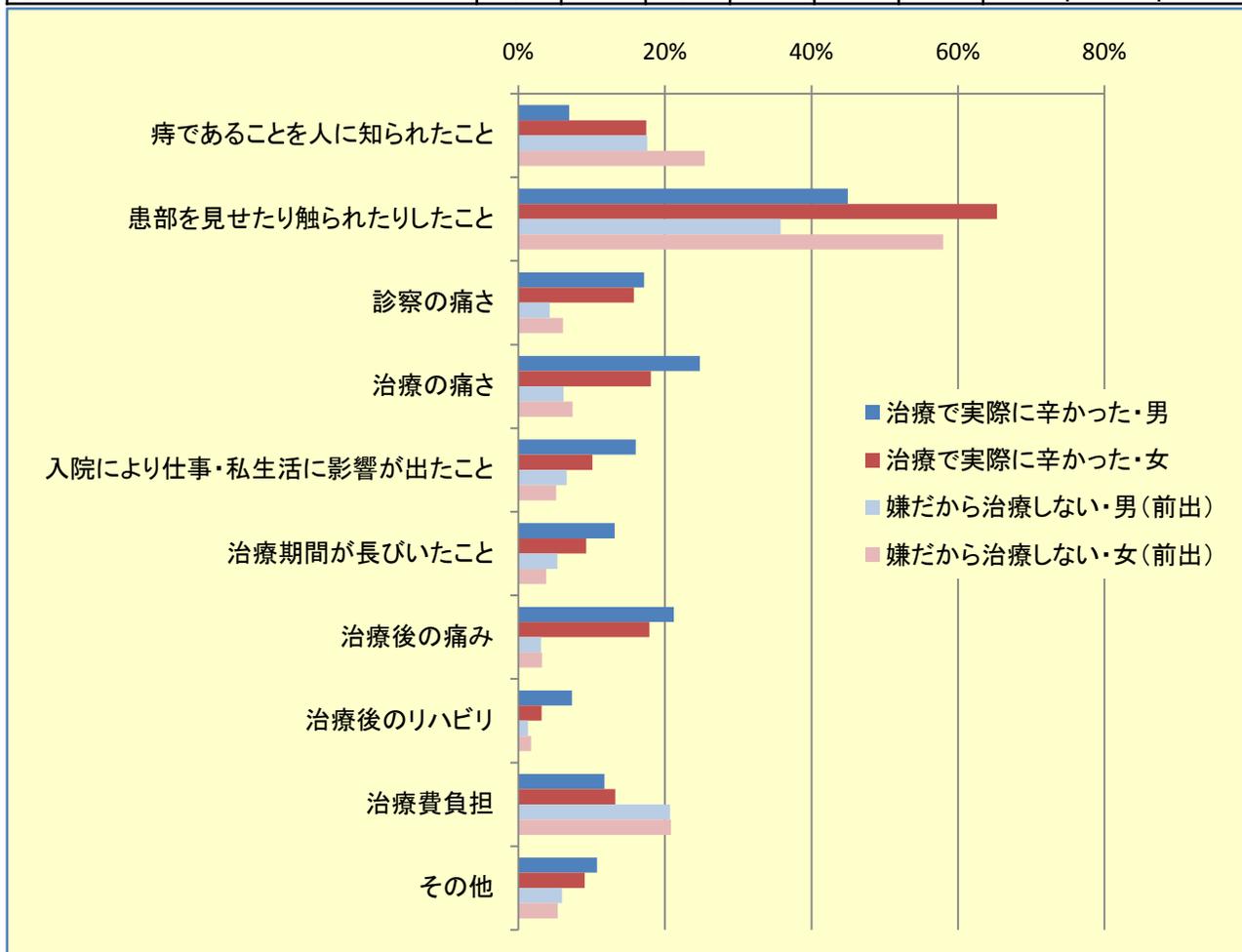


9. (痔の治療経験者のみ)痔の治療で、何を「辛い」と感じましたか？ <複数回答>

治療して実際に辛かったこととして「見られる恥ずかしさ」を挙げた人が圧倒的に多く、52.6%が辛かったと回答した。また、「診察の/治療の/治療後の痛み」も、「知られる恥ずかしさ」の2倍程度の方が辛かったとしている。痛みの程度そのものは心配していたより軽かったと考える人が多い(後出)ものの、2割弱の患者は痛みが辛かったとしている。

ちなみに、治療群に聞いた「辛かったこと」(≒実際)と、未治療群に聞いた「治療しない理由」(≒予想)を比較したところ、「知られる恥ずかしさ」以外のほとんどにおいて、前者の方が該当者が多い。特に「痛みの辛さ」は、治療群(≒実際)の方がはるかに訴えが多い。

	治療経験者			(参考)治療を受けない人の受けない理由			
	男	女	合計	男	女	合計	
痔であることを人に知られたこと	55	83	138	6.9%	17.4%	10.9%	17.6% : 25.4% : 21.1%
患部を見せたり触られたりしたこと	356	311	667	44.9%	65.3%	52.6%	35.8% : 58.0% : 45.8%
診察の痛み	136	75	211	17.2%	15.8%	16.6%	4.3% : 6.1% : 5.1%
治療の痛み	196	86	282	24.7%	18.1%	22.2%	6.2% : 7.4% : 6.7%
入院により仕事・私生活に影響が出たこと	127	48	175	16.0%	10.1%	13.8%	6.6% : 5.2% : 5.9%
治療期間が長びいたこと	104	44	148	13.1%	9.2%	11.7%	5.3% : 3.8% : 4.6%
治療後の痛み	168	85	253	21.2%	17.9%	20.0%	3.1% : 3.2% : 3.2%
治療後のリハビリ	58	15	73	7.3%	3.2%	5.8%	1.3% : 1.7% : 1.5%
治療費負担	93	63	156	11.7%	13.2%	12.3%	20.7% : 20.8% : 20.8%
その他	85	43	128	10.7%	9.0%	10.1%	5.9% : 5.4% : 5.7%
合計	1,378	853	2,231	174.0%	179.2%	175.9%	106.8% : 137.1% : 120.5%

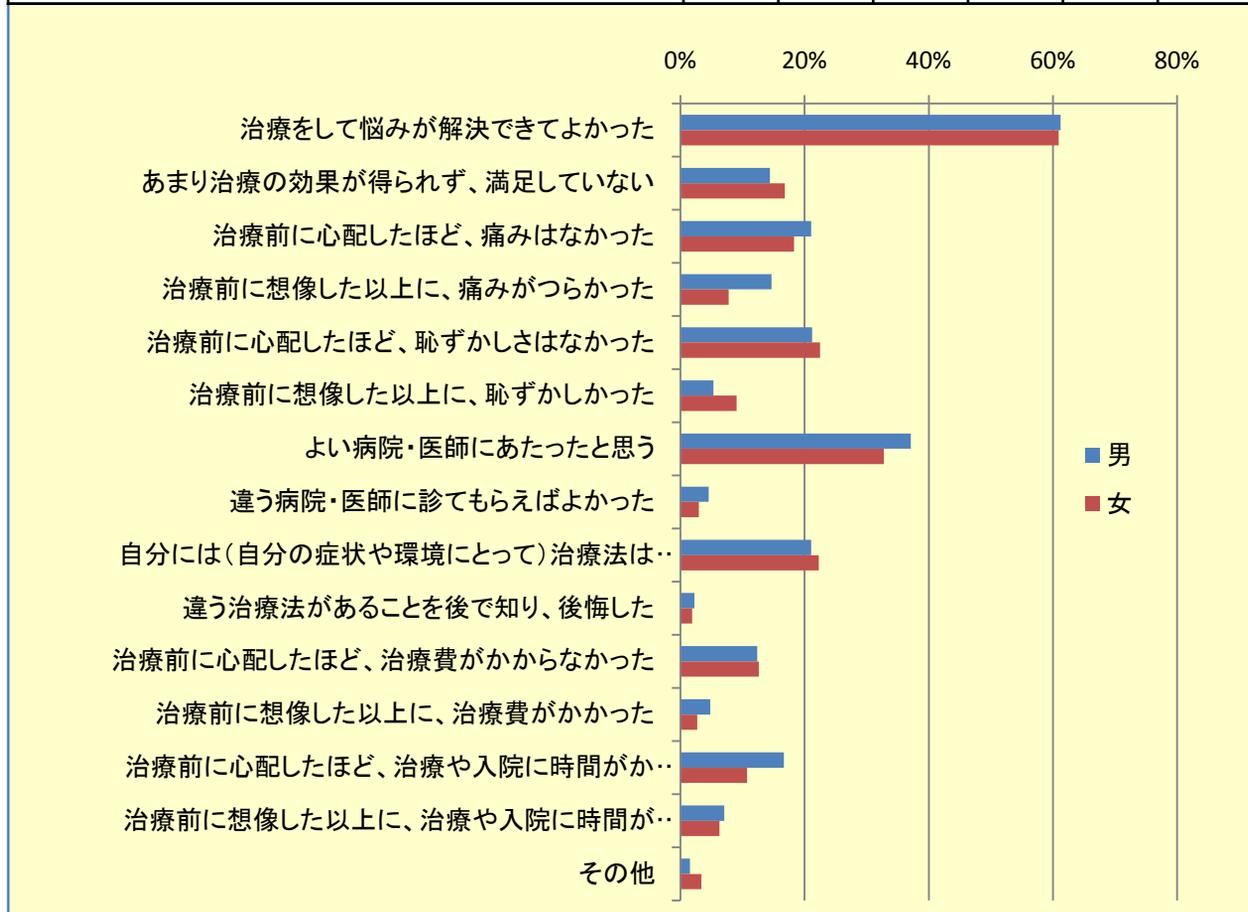


**10. (痔の治療経験者のみ)痔の治療を受けた感想で、次の中にあてはまるものがあれば全て選んでください。
 <複数回答>**

治療した人のうち悩みが解決したのは61.1%で、逆に治療効果が得られなかった人は15.3%であった。ただし「違う病院・医師」「違う治療法」にすれば良かったと後悔する人は5%未満であった。

「痛み」「恥ずかしさ」「費用」「期間」いずれにおいても、事前に心配していたほどではなかったと感じた人が多かった。特に「恥ずかしさ」については、「実際<心配>」が男女に共通して顕著である。

	男	女	合計	男	女	合計
治療をして悩みが解決できてよかった	485	290	775	61.2%	60.9%	61.1%
あまり治療の効果が得られず、満足していない	114	80	194	14.4%	16.8%	15.3%
治療前に心配したほど、痛みはなかった	167	87	254	21.1%	18.3%	20.0%
治療前に想像した以上に、痛みがなかった	116	37	153	14.6%	7.8%	12.1%
治療前に心配したほど、恥ずかしさはなかった	168	107	275	21.2%	22.5%	21.7%
治療前に想像した以上に、恥ずかしかった	42	43	85	5.3%	9.0%	6.7%
よい病院・医師にあたったと思う	294	156	450	37.1%	32.8%	35.5%
違う病院・医師に診てもらえばよかった	36	14	50	4.5%	2.9%	3.9%
自分には(自分の症状や環境にとって)治療法は合っていた	167	106	273	21.1%	22.3%	21.5%
違う治療法があることを後で知り、後悔した	18	9	27	2.3%	1.9%	2.1%
治療前に心配したほど、治療費がかからなかった	98	60	158	12.4%	12.6%	12.5%
治療前に想像した以上に、治療費がかかった	38	13	51	4.8%	2.7%	4.0%
治療前に心配したほど、治療や入院に時間がかからなかった	132	51	183	16.7%	10.7%	14.4%
治療前に想像した以上に、治療や入院に時間がかかった	56	30	86	7.1%	6.3%	6.8%
その他	12	16	28	1.5%	3.4%	2.2%
合計	1,943	1,099	3,042	245.3%	230.9%	239.9%

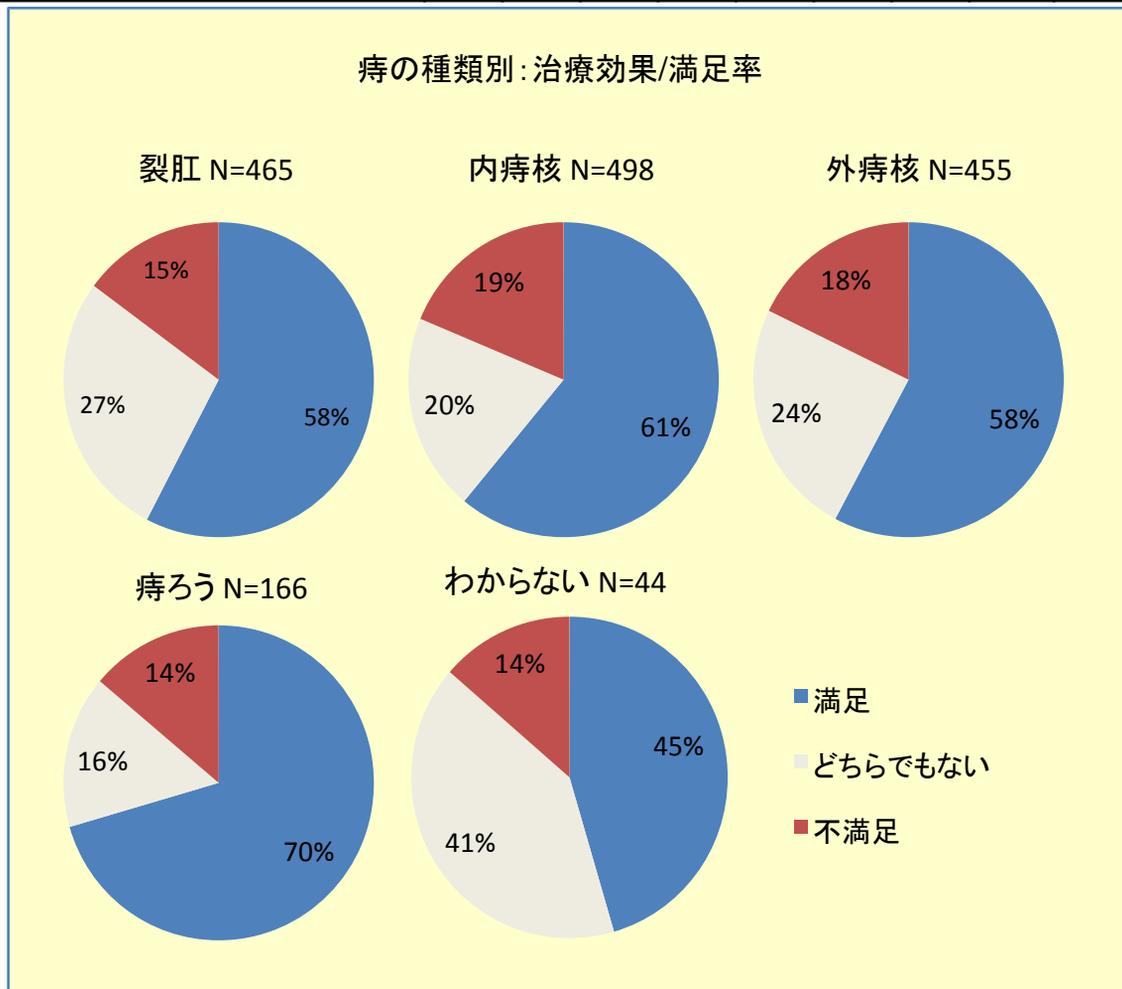


※前ページからのつづき

10. (痔の治療経験者のみ)痔の治療を受けた感想を、次の中であてはまるものがあれば全て選んでください。
<複数回答>

前ページの回答結果から、治療の「効果」に関する項目だけを取り出して、痔の種類別に集計した。すると、最も治療効果/満足度が高いのは痔ろう(70.5%)であった。逆に最も不満足者が多いのは内痔核の治療(18.7%)であった。

	裂肛 N=465	内痔核 N=498	外痔核 N=455	痔ろう N=166	わからない N=44	裂肛 N=465	内痔核 N=498	外痔核 N=455	痔ろう N=166	わからない N=44
治療をして悩みが解決できてよかった	268	304	263	117	20	57.6%	61.0%	57.8%	70.5%	45.5%
あまり治療の効果が得られず、満足していない	69	93	81	23	6	14.8%	18.7%	17.8%	13.9%	13.6%

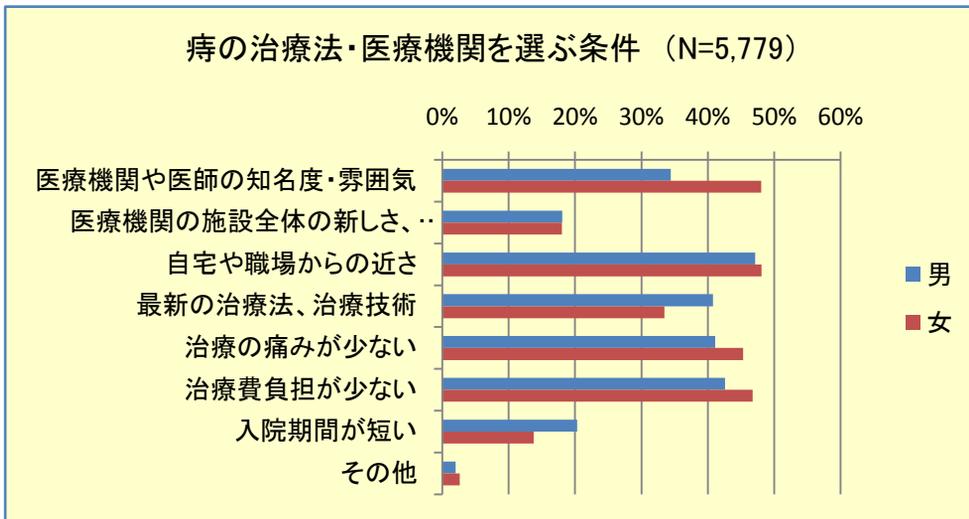


11. あなたが痔の治療を受けるとした場合、治療方法や医療機関を決めるにあたり、優先する条件は何ですか？あてはまるものを「3つだけ」選んでください。

痔の治療をするにあたって、その治療法や医療機関選びの際に重視する条件を聞いたところ、「知名度・雰囲気」「アクセス」「痛みが少ない」「費用が少ない」が多く挙げられたが、いずれも半数には満たず、決定的な要因とはならなかった。

性別で見ると、「知名度・雰囲気」を女性が、「最新の治療法・技術」を男性が重視する傾向が強かった。なお「その他」の具体的内容は、「女性医師」が約1/3で最も多く、次が「口コミ/評判が良い」であった。

	男	女	合計	男	女	合計
医療機関や医師の知名度・雰囲気	1,126	1,205	2,331	34.4%	48.0%	40.3%
医療機関の施設全体の新しさ、充実度	591	452	1,043	18.1%	18.0%	18.0%
自宅や職場からの近さ	1,542	1,207	2,749	47.2%	48.1%	47.6%
最新の治療法、治療技術	1,333	840	2,173	40.8%	33.5%	37.6%
治療の痛みが少ない	1,344	1,137	2,481	41.1%	45.3%	42.9%
治療費負担が少ない	1,393	1,173	2,566	42.6%	46.8%	44.4%
入院期間が短い	664	345	1,009	20.3%	13.8%	17.5%
その他	65	66	131	2.0%	2.6%	2.3%
合計	8,058	6,425	14,483	246.4%	256.1%	250.6%

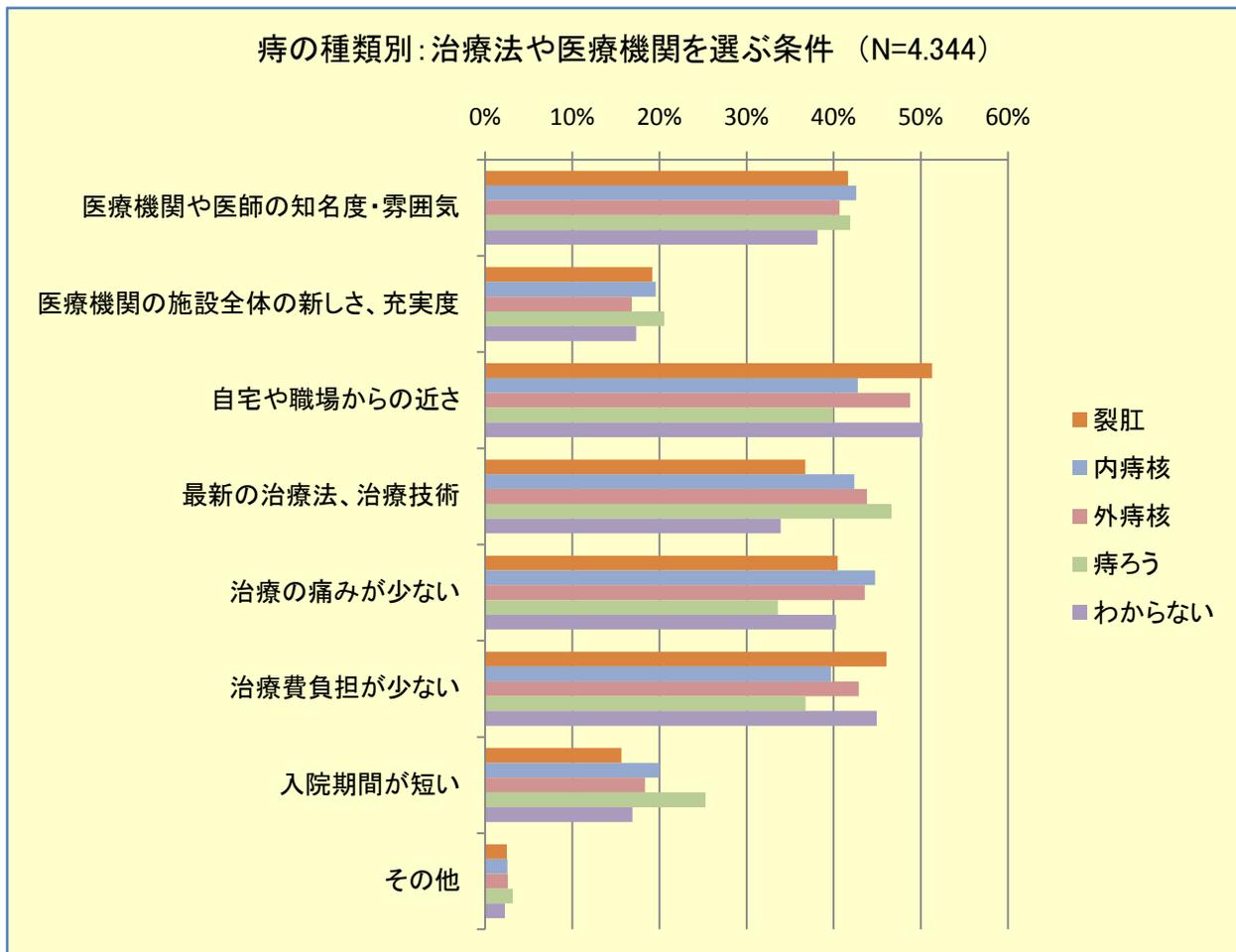


※前ページからのつづき

11. あなたが痔の治療を受けるとした場合、治療方法や医療機関を決めるにあたり、優先する条件は何ですか？あてはまるものを「3つだけ」選んでください。

治療方法や医療機関を選択する際の優先条件を、痔の種類別に集計したところ、裂肛や外痔核では「アクセス」、内痔核では「痛み」、痔ろうでは「最新技術」が、最も選択率が高い条件であった。

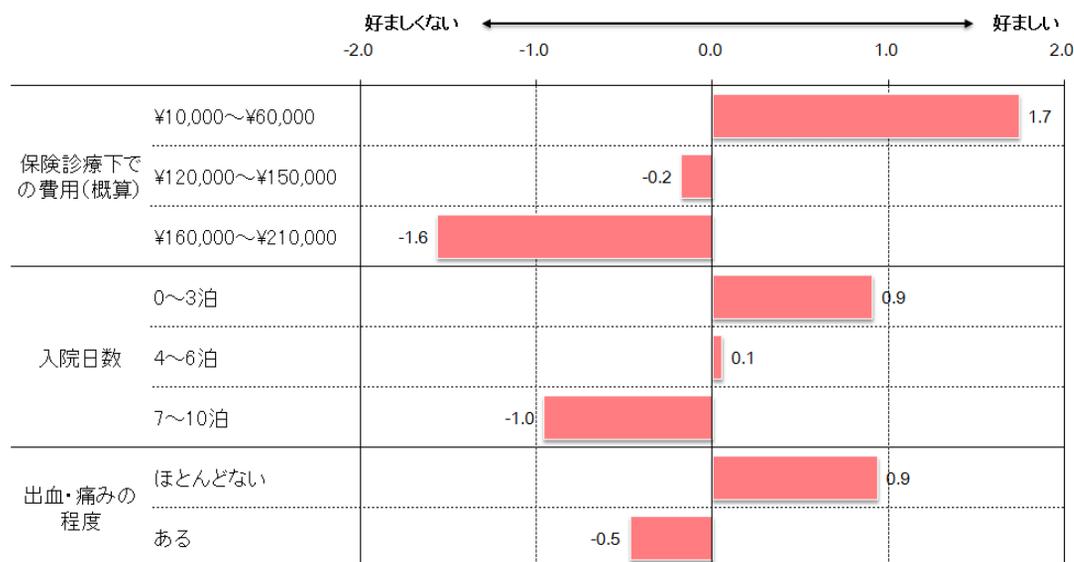
	裂肛 N=212 3	内痔核 N=970	外痔核 N=118 7	痔ろう N=253	わからない N=663	裂肛 N=212 3	内痔核 N=970	外痔核 N=1187	痔ろう N=253	わからない N=663
医療機関や医師の知名度・雰囲気	884	413	483	106	253	41.6%	42.6%	40.7%	41.9%	38.2%
医療機関の施設全体の新しさ、充実度	407	190	200	52	115	19.2%	19.6%	16.8%	20.6%	17.3%
自宅や職場からの近さ	1,089	415	579	101	333	51.3%	42.8%	48.8%	39.9%	50.2%
最新の治療法、治療技術	780	411	520	118	225	36.7%	42.4%	43.8%	46.6%	33.9%
治療の痛みが少ない	859	434	517	85	267	40.5%	44.7%	43.6%	33.6%	40.3%
治療費負担が少ない	978	385	509	93	298	46.1%	39.7%	42.9%	36.8%	44.9%
入院期間が短い	332	194	218	64	112	15.6%	20.0%	18.4%	25.3%	16.9%
その他	53	25	31	8	15	2.5%	2.6%	2.6%	3.2%	2.3%
合計	5,382	2,467	3,057	627	1,618	253.5%	254.3%	257.5%	247.8%	244.0%



12. 医師があなたの痔の治療に外科的処置が最も有効であると判断した場合、以下の治療法A～Iの中で、あなたが最も「好ましい」と考える治療から順に番号でご回答下さい。*支払費用は保険診療下で総費用の3割負担とする

外科的治療に関して「入院日数」「費用」「痛みや出血」の3つの要素を統計的手法によって組合せた9枚のカードについて、1番好ましいものから順に回答を求めた結果、回答者が「好ましい」治療法だと感じるために最も重要度の高い要素は「保険診療下での費用」であり、次いで「入院日数」「出血・痛みの程度」の順であることがわかった。この選択肢のなかでは、費用が「¥10,000～¥60,000」、入院日数が「0～3泊」、「出血・痛みの程度」が「ほとんどない」治療法が患者にとって最も「好ましい」治療法であるといえる。

カード	入院日数	保険診療下での費用(概算)	出血・痛みの程度
A	0～3泊	¥10,000～¥60,000	ほとんどない
B	7～10泊	¥120,000～¥150,000	ある
C	0～3泊	¥120,000～¥150,000	ある
D	4～6泊	¥10,000～¥60,000	ある
E	7～10泊	¥160,000～¥210,000	ほとんどない
F	0～3泊	¥160,000～¥210,000	ある
G	7～10泊	¥10,000～¥60,000	ある
H	4～6泊	¥160,000～¥210,000	ある
I	4～6泊	¥120,000～¥150,000	ほとんどない

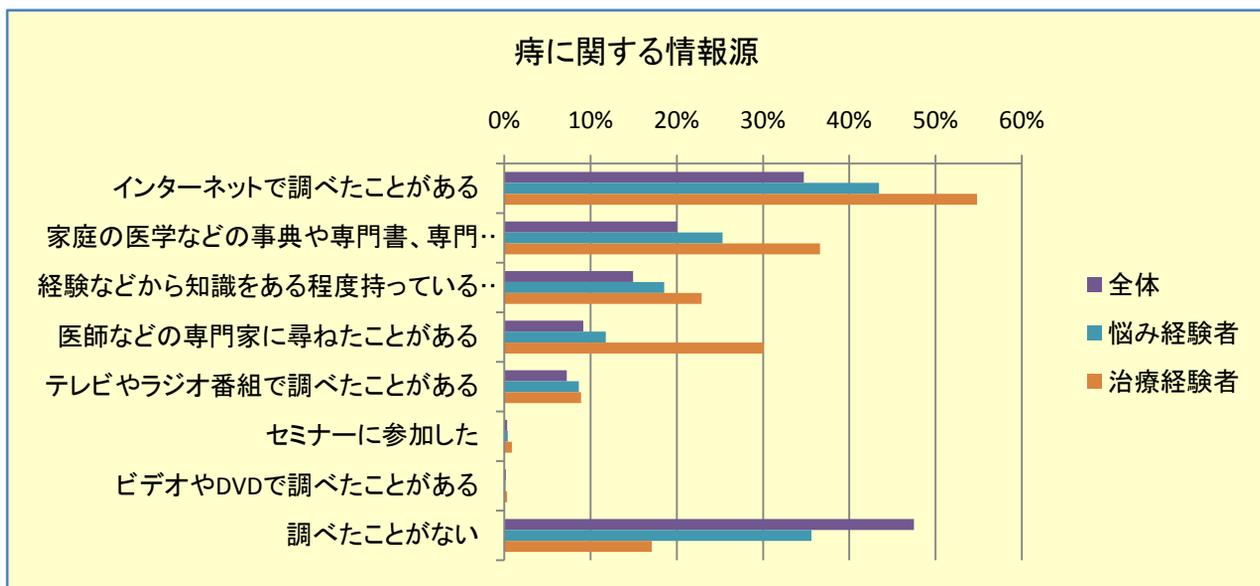


13. 痔に関する情報を(自ら)調べたことがありますか？それはどんな情報源ですか？〈複数選択〉

痔について調べた経験は、全体では(100-47.5=)52.5%で、罹患経験者に絞ると(100-35.6=)64.4%であった。治療経験者に絞ると(100-17.1=)82.9%が自ら何らかの学習をしており、逆に言うと、何も学習せずに治療を受けた人は17.1%にとどまる。

その情報源は、インターネットが最も多い。“(痔を患っていると知られてしまうので)本屋では買えない”というコメントもみられる(後出)など、「知られる恥ずかしさ」が大きい(前出)疾患ならではのと思われる。

	全体 N=5779	悩み経験者 N=4344	治療経験者 N=1268	全体 N=5779	悩み経験者 N=4344	治療経験者 N=1268
インターネットで調べたことがある	2,007	1,887	695	34.7%	43.4%	54.8%
家庭の医学などの事典や専門書、専門誌で調べたことがある	1,156	1,100	464	20.0%	25.3%	36.6%
経験などから知識をある程度持っている家族・知人に尋ねたことがある	863	805	290	14.9%	18.5%	22.9%
医師などの専門家に尋ねたことがある	529	512	381	9.2%	11.8%	30.0%
テレビやラジオ番組で調べたことがある	418	375	113	7.2%	8.6%	8.9%
セミナーに参加した	20	17	11	0.3%	0.4%	0.9%
ビデオやDVDで調べたことがある	10	7	4	0.2%	0.2%	0.3%
調べたことがない	2,745	1,547	217	47.5%	35.6%	17.1%
合計	7,748	6,250	2,175	134.1%	143.9%	171.5%

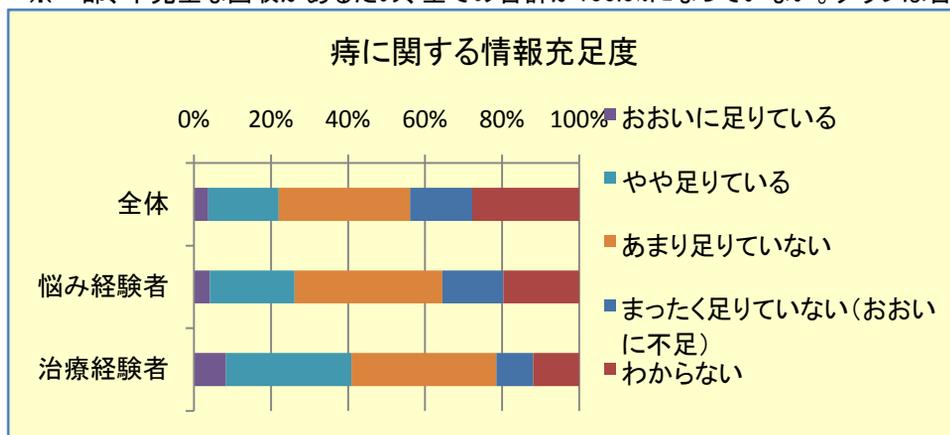


14. あなたの周りに、「痔に関する情報」が十分にあると思いますか？

痔に関する情報が、身の回りに「不足」していると考える人は(33.6+15.8=)49.4%に上り、「充足」と考える(3.6+18.0=)21.6%を大幅に上回った。ただし治療経験者群では、充足：不足=40.2%：46.5%とその差は拮抗する。情報ニーズが大きい群の方が充足感が高まるということは、「痔の情報は存在するが、分かりにくい場所にある」と推察される。

	全体 N=5779	悩み経験者 N=4344	治療経験者 N=1268	全体 N=5779	悩み経験者 N=4344	治療経験者 N=1268
おおいに足りている	210	176	104	3.6%	4.1%	8.2%
やや足りている	1,038	942	406	18.0%	21.7%	32.0%
あまり足りていない	1,940	1,643	470	33.6%	37.8%	37.1%
まったく足りていない(おおいに不足)	913	676	119	15.8%	15.6%	9.4%
わからない	1,578	842	149	27.3%	19.4%	11.8%
合計	5,679	4,279	1,248	98.3%	98.5%	98.4%

※一部、不完全な回収があるため、全ての合計が100.0%になっていない。グラフは合計を100%として表示。



15. どんな「痔に関する情報」が、今後増えて欲しいと思いますか。具体的に教えてください。

痔に関して欲しい情報として挙げられたものには、「良い/最新の治療法と、その実際」「身近なところでの良い病院、女医の病院」などが多いが、「どの程度なら、医療機関にかかるべきかの線引き(逆に、どの程度なら、かからなくても良いのか、あるいは市販薬で良いのか)」を知りたいとの声が目立った。「出来れば受診せずに済ませたい」というベース感情がうかがえる。

欲しい情報の内容例:

女性	25歳	岩手県	なかなか病院でも資料やパンフレットをみかけない。入院費も分からないので詳しく書いたものをみたい。本屋では買えないので、無料のパンフレットなどあればよいと思う。痔の種類や治療しなければどうなるかが分からない。ネットは沢山の情報が有り過ぎてよくわからない。
女性	25歳	栃木県	痔の種類。痔を放っておくとどうなるのか。痔の治療ができる医院。自分でできる治療。自分でできる治療と、医者に任せる必要がある治療の境目。治療の値段。どんな治療をするのか。痛み。治療の期間。医者に行くと痔を治した人の体験談(年齢別、男女にわけて)。
女性	31歳	京都府	近くに痔の専門医院がないので、近場でおすすめの専門医院を教えてください。サイトや情報誌があれば利用したいです。身近な人には相談できないのでできたらサイトで相談できるコーナーができたり情報を教えてください。サイトがあれば助かります。
女性	33歳	愛知県	どの程度の症状で受診すればいいのか、少し切れている位なら自然治癒をまってもいいのかしりたいです。
女性	34歳	千葉県	今症状が軽いから病院に行っていない人に対して、このまま放置しても大丈夫なものか、病院に行った方がいいのか、その線引きを知りたいです。
男性	34歳	岩手県	痔になった時に、緊急に対処する場合の対処法。例えば、白いズボン、作業着などの場合、血が多いとばれてしまいます。そこで、緊急の血の止め方や、止まらないにしても、衣服につかないようにする方法を知りたい。男の場合は生理用品を持ち歩くことがないのでわからないんですね
女性	43歳	神奈川県	予防に関する情報。一度できてしまった痔核は切らなければ消滅させられないのでしょうか？私は手術後、再発はありませんか？これから気をつけることは？と質問したところ、キレイにとったので大丈夫です。とだけ言われましたがその後新しいものできています。血行を悪くしない、とか便秘に気をつけるという漠然としたことよりもっと具体的なものはないのでしょか？そのあたりの情報が欲しいです。
男性	50歳	愛知県	妻が女性が行き易い病院を探している。例えば、産婦人科が併設されていると行き易いと言っておりました。再発しない方法、便秘予防の画期的方法、日帰り手術の病院等、知りたいです。
女性	51歳	神奈川県	どんな症状のときに病院に行く必要があるのか。治療方法にどのようなものがあるのか。(市販の薬なども出ているようなので、病院との違いも)手術方法と経費、入院日数の違いがかなりあるが、それはどのような理由なのか、手術方法についての説明。産後の痔は、放っておいてよいのか？放っておくと後で良くないのか？
男性	54歳	北海道	最近では日帰り手術が可能な病院が増えてきたが、自分の生活圏内の病院でそのような施術が可能なのか。また、新しい手術法(シートン法)が可能かどうか等、詳しくわかる様な情報が欲しい。ネット等で、新しい方法等を見つけても自分の生活圏内の病院ではやってもらえるのだろうか？と疑問になってしまう。(東京の病院でやっているみたいだが地元でやってもらえるのかな？…みたい)
男性	64歳	兵庫県	外痔核の場合、切除しないと完治しないのか、痛み出血がなければ放置しておいても良いのか、医者は入院して手術をしないと治らないと云うが、下手な手術で悩んでいる知人がいるので、本格的な入院手術は控えている。安心、信頼が出来て、費用の安つく病院情報が必要です。
男性	67歳	神奈川県	痔自体に対する情報。痔疾の早期治療の啓蒙。(自身は痔疾発症から15年後に手術に踏み切った。早く手術すれば良かった。)痔疾手術の内容の周知徹底。怖くないのだから、早く処置すべき。

本調査に関するお問い合わせ先:

株式会社QLife 広報担当

TEL : 03-5433-3161 / E-mail : info@qlife.co.jp

<株式会社QLifeの会社概要>

会社名 : 株式会社QLife(キューライフ)

所在地 : 〒154-0004 東京都世田谷区太子堂2-16-5 さいとうビル4F

代表者 : 代表取締役 山内善行

設立日 : 2006年(平成18年)11月17日

事業内容 : 健康・医療分野の広告メディア事業ならびにマーケティング事業

企業理念 : 生活者と医療機関の距離を縮める

サイト理念 : 感動をシェアしよう!

URL : <http://www.qlife.co.jp/>
